

「ここまでわかった信州の自然」から

特集にあたって

環境保全研究所では、地球温暖化や生物多様性など自然保護や環境保全に関するさまざまな調査研究に取り組んでいます。その調査研究の成果を県民に紹介することを目的として、毎年2回県内各地で公開セミナーを開催しています。今年度は、2月26日（日）に駒ヶ根市、3月3日（土）に軽井沢町で開催しました。今年度の公開セミナーでは、環境保全研究所の研究員のほかに地域の自然の現状に詳しい地元の専門家の方々にも話題提供していただきました。

現在、環境保全研究所では長野県への地球温暖化影響へ対応する方法について研究を行っています。駒ヶ根会場ではそれをテーマとし、6名が地球温暖化の現状や予測と動植物への影響などについて話題提供しました。



研究成果のポスターや蝶類の標本を熱心にみる参加者（駒ヶ根会場）



熱心に発表を聞く参加者（軽井沢会場）

軽井沢会場では、ザゼンソウをテーマとした特別講演のあと、軽井沢町やその周辺のシンボルである浅間山の自然史、その恵みでできた草原の歴史と現状、そこに棲む生きものたち、そしてこの地域でも問題となつつあるニホンジカについて5名から話題提供がありました。

2週続けてのセミナーでしたが、どちらも多くの方が参加され、熱心に発表を聞いてくださいました。発表の後の意見交換会では、地球温暖化や身の回りの自然の消失、ニホンジカによる被害について多くの質問や意見があり、これらの問題に対する皆さんの関心の高さを知ることができました。

この特集では、駒ヶ根会場の発表の中から3題、軽井沢会場の発表の中から2題をご紹介します。

（企画担当：堀田昌伸・須賀 丈）

平成23年度環境保全研究所公開セミナーの概要

	駒ヶ根会場	軽井沢会場
セミナー タイトル	地球温暖化でどうかわる？ 信州の生きものたちと私たちの暮らし	浅間山麓の自然、その歴史とこれから
日時	2月26日（日）13:00～16:00	3月3日（土）13:00～16:00
会場	駒ヶ根総合文化センター 小ホール	軽井沢町 中央公民館
共催等 参加者	共催：駒ヶ根市 115名	後援：軽井沢町・軽井沢町教育委員会 175名
発表内容	<input type="checkbox"/> 地球温暖化の現状と将来予測（浜田 崇） <input type="checkbox"/> 地球温暖化と信州の高山植物（尾関雅章） <input type="checkbox"/> 暖地性植物の分布拡大（大塚孝一） <input type="checkbox"/> 伊那谷における蝶類の動向（日本鱗翅学会信越支部長／伊那谷自然友の会会員 井原道夫） <input type="checkbox"/> 地球温暖化とライチョウ（堀田昌伸） <input type="checkbox"/> 気候変動適応社会にむけて（陸 斉）	<input type="checkbox"/> ザゼンソウ属植物の分類・地理（大塚孝一） <input type="checkbox"/> 浅間火山～その自然史～（富樫 均） <input type="checkbox"/> 浅間山麓の草原と希少生物 （1）歴史と現状（須賀 丈） （2）カミナリシギがシンボル（NPO法人生物多様性研究所あーすわーむ 石塚 徹） （3）蝶類の生態と保全（蝶類研究者 栗岩竜雄） <input type="checkbox"/> ニホンジカなどの野生動物の増加と被害対策について（麻布大学／NPO法人生物多様性研究所あーすわーむ 南 正人）